



## 令和5年年頭のご挨拶

新年明けましておめでとう  
ございます。皆様方におかれ  
ましては、令和5年の新春を  
お健やかに迎えのことと心  
よりお慶び申し上げます。

表紙の恒例の新春座談会  
は、市制40周年の節目の年度  
を記念し同じく40歳を迎える  
市職員と今後の本市の未来に  
ついて語り合いました。

本市で生まれ育ち、もしく  
は移り住んで、まさしく市の  
歩みと軌を同じくしてこれか  
らも市政運営を担う彼らに、  
大いなる期待を感じました。

2月にはその集大成として、  
記念式典や梅花の宴を時空を  
超えて現代によりがえらせる  
令和文化会議や国際未来会議  
を執り行って参ります。

今後の50周年100周年に

向けて、令和の都だざいふが  
さらに羽ばたいていけるよう  
な確かなステップとなる節目  
の取組を心掛けて参ります。

今なお続くコロナ禍ではあ  
りませんが、ワクチンの浸透や  
新薬の登場等でその脅威は低  
減化され、本市への来訪者も  
かなり持ち直して来ました。

私自身も、姉妹都市の扶餘  
郡や友好都市の奈良市、世界  
遺産の岩手県平泉町、万葉ゆ  
かりの鳥取など関係各地への  
出張も増えて参りました。

今後も持ち前のフットワー  
クで現地に向き、友好自治  
体との更なる関係構築やトッ  
プセールスに努め、市政運営  
の参考にもして参ります。

年末年始は、コロナ禍前  
にも及ぶ観光客参拝客が見込  
まれており、住まう人も訪れる  
人も共に慶び合えるコロナ対  
策や渋滞対策に努めます。

引き続き質、量、スピード  
兼ね備えた様々なコロナ対策  
に全力を挙げて参りますので、  
変わらぬご理解ご協力よろし  
くお願い致します。

さて、令和4年を改めて振  
り返りますと様々な事があり  
ました。1月には二期目の就

任式を行い、3月議会にて施  
政方針演説を述べました。

その際、かつて市制混乱の  
原因となり次代を担う子ども  
たちのためにも悲願である中  
学校完全給食の実現に向け全  
力を挙げると宣言しました。

その後準備を重ね、11月に  
は令和6年1月からの全員喫  
食の給食開始を謳う念願の(株)  
日米クックとの調理配送等委  
託契約締結に至りました。

これに伴い本市内に委託会  
社の新たな給食調理場が建設  
される予定で、出来立てで安  
全調理安全運搬が可能となり、  
経済税収効果も見込めます。

また、豪雨や台風への対応  
にも度々迫られました。結果  
的に大きな人的物的被害はあ  
りませんでした。備えの重  
要性を再認識しました。

その思いの中、大地震を想  
定した本市初の市民一斉避難  
訓練を11月に行いました。今  
後も市民の安心安全を最大限  
確保すべく準備を重ねます。

2月に起きた予期せぬロシ  
アによるウクライナ侵攻は大  
きな衝撃であり、本市内大学  
にも多くの避難民学生が留学  
して来る事となりました。

そこで、ふるさと納税制度  
を活用したクラウドファンデ  
ィングを全国に先駆けて行い、  
多くの寄付と共に激励のメッ  
セージをお受け出来ました。

これを原資に留学生支援を  
行うと共に、市内の子どもや  
学生を始めとする市民の皆様  
との交流を積極的に企画し、  
関係構築に努めています。

こうした工夫を重ね昨年度  
9億円を超えたふるさと納税  
は本年度も順調に推移してお  
り、目標の10億円達成に向け  
引き続き全力を挙げます。

昨年度開始した令和発祥の  
都太宰府梅プロジェクトとも  
連携し、史跡地の梅を活用し  
た新たなグルメやスイーツを  
次々ノミネートしています。

史跡地の規制緩和は梅プロ  
ジェクトに留まらず、フード  
トラックの実証実験や梅花の  
宴の再現映像の撮影など新た  
な挑戦を重ねています。

今後も、住まう人も訪れる  
人も共に慶び合える世界に冠  
たる令和の都だざいふを目指  
し、16%を占める史跡地の経  
済税収効果を高めます。

そうした成果として市税収も  
着実に増加し、基金は過去最高

額を積み立て、市債も年々減ら  
して来ました。経常収支や財政  
力指数も改善傾向です。

その結果として、直近のま  
ちづくり市民意識調査では初  
めての調査項目となる市政へ  
の信頼度において「肯定派」  
が71.9%を記録しました。

「住みやすさ」や「効果的な  
行政運営」「市職員の対応への  
満足度」も年々軒並み上昇し  
ており、評価頂いたことは大  
きな励みとなりました。

今後も慢心することなく、  
引き続き市民の皆様の声に真  
摯に耳を傾け、ご期待に更  
に答えられるよう職員と共に  
道な努力を重ねて参ります。

私事ではありますが、政治家  
を志し愛する郷土に戻って活  
動を始めてから昨年末で丸20  
年となりました。そして今年  
は卯年の歳男でもあります。

新たな気持ちで、世の為人  
の為市の為市民の為に持てる  
力を出し尽くして参りますの  
で、本年一年もどうぞよろし  
くお願い申し上げます。

太宰府市長

楠田大蔵